

農業担い手メールマガジン（第90号）

インデックス

現場の皆さんへ ～若い農業者に夢と希望を～
事業活用のポイント ～集落営農総合支援事業（その2）～
農業担い手経営相談コーナー

現場の皆さんへ ～若い農業者に夢と希望を～

現場の農業者、農業関係者の皆さん、お仕事たいへんお疲れ様です。

農業担い手メールマガジンは、前号から内容をリニューアルして配信しておりますが、早速、現場の農業者の方から「若い農業者に対する支援を充実し、若者が希望を持って農業ができるような環境を作って欲しい」というご意見をいただきました。

これまで農林水産省では、意欲と能力のある農業者を支援するというスタンスから、認定農業者や集落営農組織を対象に施策を充実させるという方向で農政を進めてきました。これは、農業全体の魅力を高め、農業を職業にしたいと若者に思っていたくためには、まず第一に、他産業並みの所得が得られる農業者を数多く育成していくことが重要であると考えてきたためです。

一方、新規就農者に対しては、各県に設置した新規就農相談センターを通じたアドバイスや農業大学校等における農業教育、研修を実施しています。また、無利子貸付や農地情報の提供、農業法人への就職のあっせん、普及指導センターでの就農後の技術・経営指導などにも力を入れています。しかし、実際には、「就農を希望する地域で受け入れ先を見つけるのに苦労した」とか「就農後、経営や生活の悩みを気軽に相談できる相手が欲しい」などという声も聞こえてきます。

われわれとしても、将来を担う若い方に希望とやる気を持っていただけるよう、環境を整えていく必要があると感じておりますので、今後どのような具体的方策がとれるか、省内で議論を重ねていきたいと考えております。

農業を始めたい人を応援するページはこちら

<http://www.maff.go.jp/newfarmer/index.html>

ご意見・ご質問は下記へお願いいたします。

https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=120

事業活用のポイント ～集落営農総合支援事業（その2）～

前回のメルマガでは、これから集落営農組織を立ち上げる際の支援をご紹介しましたが、今回は、既に立ち上がった集落営農の経営の維持・発展に向けた取組に対する

支援についてご紹介させていただきます。

現場を歩いて、集落営農組織のリーダーや組織の指導に当たるJA等の担当者からお話をお聞きすると、米価が下落したり生産調整が強化される中で、「米、麦、大豆だけでは先々の経営状況が不安」であるとか、「新たな作物にも挑戦したいが、何を作ればよいかかわからず、リスクが大きい」などといった声が聞かれます。

集落営農経営安定支援事業（集落営農総合支援事業の一部）では、新たな経営展開に挑戦しようとしているこうした組織を対象に、下記のような費用について最高40万円までの支援を用意しています。

ア 新規作物導入に向けた試験栽培用の苗代、肥料代、土壌分析代等

イ 農産加工を実施する際の、商品開発用の材料費、機材費、技術者への相談料等

ウ 販路拡大に向けた消費者や実需者ニーズを把握するためのアンケート調査やモニタリング調査等の費用

集落営農の皆さんでいろいろな新しい取組やアイデアを語り合ってください、是非、この事業をご活用ください。

（経営局経営政策課集落営農班）

集落営農総合支援事業の詳細はこちらから。

http://www.maff.go.jp/j/ninaite/pamphlet/pdf/syuraku_eino2.pdf

農業担い手経営相談コーナー

Q．小麦と大豆を生産しており、間もなく小麦の収穫時期になります。できれば早く小麦の成績払の交付金を受け取りたいのですが、どうすればよいでしょうか？

A．今年から、麦と大豆の成績払（黄ゲタ）の交付金を別々の時期に申請をして受け取ることができるようになりました。品質区分別の対象数量がわかり次第、申請をしていただければ、年内の早い時期に支払うことができます。また今年から、固定払（緑ゲタ）についても7～8月頃の支払いが可能となっており、その際に成績払の分を併せて立替払をしてもらえる地域もありますので、最寄りの農協にご相談ください。

（このコーナーでは、現場の農業者・関係者の皆様から、経営や担い手の育成等についてのご質問、ご相談をお待ちしています。日頃の悩みなどをどしどしお寄せください。）

ご質問・ご相談は下記へお願いいたします。

https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=120

編集後記

わが家の猫の額ほどの菜園では、枝豆が本葉5枚ほどになりました。北日本では初夏の暑さとのことですが、これから、田植えなどお忙しい時期を迎える地域も多いと思います。皆様もご自愛の上、頑張ってください。

今回は「農業担い手メールマガジン」をリニューアルして2号目となりますが、前

号の反響から、既に貴重なご意見・ご質問をいくつもいただきました。今後ともこうしたご意見等をテーマに取り上げながら、メルマガを活性化していきたいと考えております。

(S)

電子出版：農業担い手メールマガジン

発行日　：毎月2回発行

発行元　：農林水産省経営局経営政策課　担当：鈴木

農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

<http://www.maff.go.jp/j/ninaite/index.html>

このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから。

<http://www.maff.go.jp/ninaite/mailmagazine.html>

このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>